

災害を考え、防災へつなげる 産官学連携の深化に向けて

基調講演

サイバー・フィジカル・システム（CPS）としてのメタバース



メタバース研究所長

西村 昭治（にしむら しょうじ）

1983年早稲田大学理工学部数学科卒業。1990年早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程物理学および応用物理学専攻単位取得退学。早稲田大学情報科学研究教育センター助手、株式会社アイネス・システムリサーチセンター主任研究員、早稲田大学人間科学部専任講師（1997年）、同助教授（1999年）を経て、2006年4月から現職（早稲田大学人間科学学術院教授）。2014年博士（人間科学）（大阪大学）。専門は情報科学、教育工学。教育システム情報学会、日本教育工学会、情報処理学会、電子情報通信学会各会員、日本イーコマース学会理事長。

対談

複合災害に産官学連携でどう対処すべきか



電子政府・自治体研究所顧問

小尾 敏夫（おび としお）

早大博士。早大大学院国際情報通信研究科、アジア太平洋研究科教授を経て、名誉教授、電子政府・自治体研究所顧問（前所長）、APEC 電子政府研究センター所長も兼務。OECD シルバーデジタル経済委員会前委員長、10年に1度の国連防災世界会議（2005年、2015年）招待参加。ユネスコ大学環境教育元委員長、電子政府推進で総務大臣賞2度受賞。



株式会社 NTT-ME

社会インフラデザイン部部长（前 NTT 東日本災害対策室長）

笹倉 聡（ささくら さとし）

1997年に日本電信電話株式会社（NTT）へ入社後、NTT 災害対策室や NTT 東日本災害対策室長を経て、2023年より現職。東日本大震災を経験し、通信事業者（指定公共機関）自らが地域に寄り添う、「地域課題解決型」の災害対応へのシフトが減災における最重要課題であると痛感。これまでの通信事業者としての災害経験やノウハウ、技術やアセットを地域に実装し、災害に立ち向かう地域の共創を目指し活動中。

対談

未来へ繋ぐ災害対策：科学と政治と社会の協働のために



レジリエンス研究所長

松岡 俊二（まつおか しゅんじ）

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授。1957年兵庫県豊岡市生まれ。1980年から京都大学で開発と環境に関する研究を行う。1988年から20年間広島大学で研究教育に従事する。2007年より早稲田大学で研究教育に従事する。2011年3月の東日本大震災と福島原発事故をスリランカで知り、大きな衝撃を受ける。原発事故を契機に、福島復興と廃炉の研究を始めて12年が経過。早稲田大学ふくしま浜通り未来創造リサーチセンター長、1F 廃炉の先研究会代表、1F 地域塾塾頭、創造的復興研究会代表などを務めている。



株式会社ふたば 代表取締役社長

遠藤 秀文（えんどう しゅうぶん）

一般社団法人とみおかウィンドメニュー代表理事、株式会社ふたばラレス代表取締役。1971年に福島県双葉郡富岡町に生まれる。大学卒業後、1994年4月に大手建設コンサルタントに入社し、約30カ国でODA開発事業に従事。2008年8月（株）ふたばに入社。東日本大震災の1ヵ月後に富岡町の本社機能を郡山市に移し事業再開。2017年8月28日に富岡町に新本社社屋、郡山市に新支社屋を開所。2016年3月より、富岡町でワイン葡萄の試験栽培開始。2018年11月に一般社団法人とみおかウィンドメニュー、2023年1月に（株）ふたばラレスを設立。

対談

既存建物の質向上と都市のレジリエンス



建築学研究所長

高口 洋人（たかぐち ひろと）

早稲田大学理工学部建築学科卒業 博士（工学）。早稲田大学創造理工学部建築学科教授 / 建築学研究所所長。環境工学、都市環境、環境メディア学が専門。「完全リサイクル型住宅Ⅰ・Ⅱ（共著）」「健康建築学（共著）」「地方都市再生の戦略（共著）」「ZED Book（共訳）」「エコまち塾（共著）」「Sustainable Houses and Living in the Hot-Humid Climates of Asia（共著・編）」「カーボンプライシングのフロンティア（共著）」「森林列島再生論（共著）」など。僧侶・住職としても活動。



東京建物株式会社 ビルマネジメント第一部長

園部 稔雄（そのべ としお）

1990年に東京建物に入社。入社以来ビル事業に携わり、主に運営業務を担当。八重洲・日本橋・京橋他のオフィスビルを担当。入居者の快適性の向上、ビル管理の効率化、BCP対策、省エネルギーなど各種施策を実施。AI、IoTを積極的に活用し各種施策に展開中。

登壇者によるフリーディスカッション

産学連携が切り開く安全と安心

対談内容を踏まえて防災のためにどのような産学連携が必要かなど、
登壇者によるフリーディスカッションを行います。

モデレーター：建築学研究所長 高口 洋人